

様式2

先進地（現地）調査報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 横手 良弘



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

| | |
|--------|---|
| 調査議員 | 吉田喜徳、田畠久吉、森川和博、田中英雄、嶋村徹、横手良弘 |
| 日時 | 平成28年7月14日（木）～平成28年7月16日（土） |
| 調査先 | 名古屋市守山区（玉三屋食品株式会社）・志摩市 |
| 調査事項 | 無公害で低コストのゴミ処理技術 自然災害（地震・津波）防災減災対策 |
| 調査先面会者 | ERCMの社員、㈱ASK商会 志摩市総務部地域防災室長 [REDACTED] 志摩市政策推進部室長 [REDACTED] 他議会事務局職員 |
| 概要及び所見 | <p>7月14日、午後2:30に名古屋の玉三屋食品㈱を訪ね、燃料を使わず可燃性廃棄物を無機化し劇的に減容、排熱や有毒ガス、騒音、振動を出さずに再資源化、あらゆるゴミをセラミックで燃焼し、セラミックが残る施設を見聞した。発明者「東京工業大学」「熊本大学工学部」熊本県の产学研官で研究開発し、現在国（環境省）に認可申請中。</p> <p>施設も大掛かりではなく安価で建設が出来るとの事、玉名でも検討の余地があると感じた。</p> <p>翌日7月15日は、三重県志摩市に移動して、市役所を訪ね、議長の温かい歓迎を受けたのち、南海トラフの地震に対する備えについて、市としての対策「マップの整備や備蓄食料、飲料水、発電機、簡易トイレや毛布など」避難所で市民が3～7日間分の生活を想定して準備しているとのことであった。</p> <p>最後に、今回のサミットの会場に志摩市賢島がなぜ選ばれたのか、熊本地震についても意見交換を行い、議員一同有意義な研修ができた。</p> |